

ナンバリング	B②11	科目名	保育方法論Ⅱ
担当形態	単独	担当教員	小木曾 友則
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③		
テキスト	「幼稚園教育要領解説」 フレーベル館 「保育所保育指針解説」 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 フレーベル館 その他資料を適宜配布する。		
開講時期	後期	単位数・ 授業形態	1 単位・講義
到達目標	1. 保育の目的に適した指導技術を理解し、適用することができる。 2. 子ども達の興味・関心を高めたり、活動を振り返ったりするために、幼児の体験との関連を考慮しながら情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。		
授業の概要	本講義は、これからの社会を担う子ども達に求められる資質・能力を育成するために必要な、保育の方法、保育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技術を身につける。 講義は担当教員が保育士・幼稚園教諭として勤務した経験を踏まえ、具体的な事例を基に「保育の目的に応じた指導技術」「情報機器 (ICT) を活用した教材作成・提示の技術」を学ぶ。 保育には多様な見方があることを理解するために、アクティブラーニングを取り入れ発言の場や対話の時間を設定する。		
授業計画	第 1 回 発達の時期に応じた教育方法と指導計画作成の実践① 「子どもの実態に応じたねらいを設定することができる」 第 2 回 発達の時期に応じた教育方法と指導計画作成の実践② 「ねらい及び内容に基づいた環境構成を設定することができる」 第 3 回 発達の時期に応じた教育方法と指導計画作成の実践③ 「実践後の省察の意義を説明することができる」 第 4 回 幼児教育における情報機器 (ICT) の活用① 「情報機器を活用した保育実践における留意点を説明することができる」 第 5 回 幼児教育における情報機器 (ICT) の活用② 「子どもの情報活用能力を育むために必要な保育者の知識及び技術とは何か説明することができる」		

	<p>第 6 回 幼児教育と小学校教育の円滑な接続 「幼小接続期における保育者の留意点について説明することができる」</p> <p>第 7 回 これからの幼児教育と教育方法 「教育方法を支える保育者の在り方について、自身の考え方を説明することができる」</p> <p>第 8 回 指導技術を支える保育者の専門性 「保育の目的に応じた指導技術を選択・判断するための視点を説明することができる」</p>
準備学習と必要時間	<p>予習として、毎回授業計画に示された「 」のテーマに関して、テキストで確認を行う。(60 分) 復習として、毎回講義のテーマに関して講義資料をもとに振り返る。(30 分)</p>
評価方法	<p>受講態度(20%)授業課題(30%)期末レポート(50%)</p> <p>受講態度は、授業中に提示した課題に責任を持って取り組む、質問に対する応答やグループ討議での積極性、発表時のまとめ方等から「関心・意欲・態度」及び「技能・表現」の到達度を見る。</p> <p>授業課題は、毎授業時間終了時に講義のゴールについて記述する振り返りシートから授業内容に関する「知識・理解」及び「思考・判断」から到達度を見る。</p> <p>期末レポートは、各授業に設定されたゴールから出題し、「知識・理解」及び「思考・判断」の観点から到達度を見る。</p>
参考文献	<p>授業中に適宜示す。</p>
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンまたはタブレットを毎回持参すること。 ・Google Classroom から講義資料の配信、授業課題の提示を行う。 ・配信されたレジュメの PDF データにメモするか、あらかじめ自身で印刷するなどして受講することをすすめる。 ・授業計画に示した「 」は各回の講義のゴールである。授業中はゴールを念頭に受講し、授業後の振り返りシートで理解した内容をまとめて教員に提出する。 ・期末レポートは、各講義のゴールから出題される。毎回の講義を重んじた授業設計であることを踏まえて受講してほしい。 ・他の受講者に対する迷惑行為(私語、飲食、講義と無関係なスマートフォンの使用、複数回に渡る退室や明確に受講意思のない居眠りなど)と判断される行為はその回の受講態度の減点となる。講義の進行を妨げる場合は受講態度を大きく減点する。 ・本講義では、生成 AI の利用については「使用可能範囲」と「使用禁止範囲」を設けている。これは遵守してほしい。

課題へのフィードバック方法	毎回の講義で提出する振り返りシートには教員がコメントを行い、次回の授業冒頭で他の学生のコメントを紹介する。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目
	その他		保育士資格	必修	保育の内容・方法に関する科目
教員の実務経験					